

104-37

問題文

TNF- α に特異的に結合することで、TNF- α とその受容体の結合を阻害するのはどれか。1つ選べ。

1. インフリキシマブ
2. プレドニゾロン
3. トシリズマブ
4. アバタセプト
5. トファシチニブ

解答

1

解説

選択肢 1 は妥当な記述です。

インフリキシマブ（レミケード）は遺伝子組み換え抗ヒトTNF- α モノクローナル抗体です。TNF- α とは、炎症性サイトカインの一つです。TNF- α に対してインフリキシマブは選択的に結合することで、炎症を抑制します。

選択肢 2 ですが

プレドニゾロンはステロイド薬です。TNF - α に特異的に結合する薬ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

トシリズマブ（アクテムラ）は、遺伝子組み換えヒト化ヒト IL-6 受容体モノクローナル抗体です。IL-6 受容体に結合することにより IL-6 の活性発現を抑制し、炎症を抑制します。TNF - α に特異的に結合する薬ではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

アバタセプト（オレンシア）は、抗原提示細胞表面の CD80/CD86 を標的とした分子標的薬で抗リウマチ薬の一つです。CD28 を介した共刺激シグナルを阻害することで T 細胞の活性化を抑制します。TNF - α に特異的に結合する薬ではありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

トファシチニブ（ゼルヤンツ）は、ヤヌスキナーゼ（JAK）阻害薬です。TNF - α に特異的に結合する薬ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1 です。

類題，
参考